

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和7年6月20日
室蘭開発建設部いのちとくらしをまもる
防災減災

大規模災害に備え「広域防災フロート」の派遣訓練を実施

室蘭港広域防災フロート派遣協議会は、災害時の派遣要請を想定し、「広域防災フロート」の派遣に係る机上訓練を実施します。

毎年のように各地で大規模な自然災害が発生している状況を踏まえ、下記のとおり、千島海溝地震の発生を想定し、支援物資の輸送を担う広域防災フロートの机上派遣訓練を行います。

記

1 机上派遣訓練

- ① 開催日時 令和7年6月25日（水）13：30～1時間程度
- ② 開催場所 室蘭開発建設部1階大会議室 室蘭市入江町1-14
- ③ 開催内容 迅速かつ円滑な派遣のために、関連法令に係る諸手続きや安全管理等について、協議会による訓練を実施します。

2 その他

- ・広域防災フロートの概要については別紙1、広域防災フロート派遣協議会については別紙2を参照願います。
- ・本訓練については、会場内記者席での取材が可能です。取材を希望される場合には開催時間前までに開催場所にお越しください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 室蘭港湾事務所
副所長 高橋 哲美 電話 0143-27-2101
第1工務課 専門官 大山 裕也

室蘭開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>



広域防災フロートの概要

本施設は、大規模地震や火山噴火等の大規模災害時に、国が被災地へ迅速に派遣し、緊急物資輸送、小型船の係留や臨時ヘリポート等、災害復旧活動等の支援施設として利用することが可能です。平成23年3月の東日本大震災時には、被災地に緊急支援物資を運んだ後、被災地域の港に常駐し、作業船係留施設として活躍しました。また平常時は、直轄港湾工事のコスト縮減を図るため、工事資材の置き場となる台船等として活用しています。



広域防災フロート



緊急物資搬入状況



小型船の係留



ヘリポート利用

施設規模	長さ：80m 幅24m 高さ4m
上甲板	- 避難、物資輸送のための1,000t級船舶の接岸が可能 - ヘリポートとしての利用が可能 - 復旧支援用の車両の乗り入れが可能
第二甲板	- 避難、物資輸送のための漁船等の小型船の接岸が可能 - 物資格納用の貨物室を装備

広域防災フロート派遣協議会

（目的）

本協議会は、大規模災害発生時等に広域防災フロートを派遣するにあたって、関係機関の協力のもと、迅速かつ円滑に活動を実施するための協議または準備を行うものです。

（広域防災フロート派遣協議会委員）

機 関 ・ 団 体 名	役 職
北海道開発局室蘭開発建設部	次 長
北海道開発局室蘭開発建設部室蘭港湾事務所	所 長
北海道労働局室蘭労働基準監督署	副署長
第一管区海上保安本部室蘭海上保安部	次 長
北海道運輸局室蘭運輸支局	次 長
北海道胆振総合振興局 地域創生部危機対策室	主 幹
室蘭市港湾部	港湾部長
室蘭市消防本部	予防課長
室蘭港湾振興会	副会長
（一社）室蘭建設業協会	災害対策委員長
（一社）日本埋立浚渫協会北海道支部	支部長